

## プロローグ

うう、みんなどこ行ったのよ……

むさい冒険者の中ではちょっとは見どころあると思ってパーティ組んだのに、目を離したらすぐ迷子になって！

これだから人間は……ひゃっ、ファイヤー、アイスランス、バイオドリルー！！　ふー、ふし……あ、雑魚モンスターに全力で魔法ぶち込んだ……

ふ、ふん、希少な万能薬フタナオールが採れるっていつでも上層は低レベルダンジョンね、これくらいなら優秀なエルフ魔術師である私一人で攻略できるんじゃない……うう、啾んだ……もう、最悪……

シーン1 前編

さつき少し水を飲みすぎたかしら。ちょっと……うん、誰も見てないし、気配もないから、だ、大丈夫よね？

あ、ここ、この小部屋……暗いし、だ、誰もいない？

……いないに決まってるでしょう。あ、あいつらがいないと独り言が多くなっていけないわ。前はこうじゃなかったのに……あいつらのせいよ。

んしょ……ん、ふう。

はあ……さて——きやあつ！ な、なにっ!? ちょ、蟲!? やだ、嘔まれ……っ!?

ひうつ、にゆるにゆるして掴めっ……んひいつ、そこだめ?……! ん、くうん?……え、ええ、うそ、入っちゃったあ……ん、んんっ、おなか熱い!? あ、ん、はうんんっ!

## シーン1 後編

お、落ち着きなさい。落ち着いて状況を口に出して整理するの。

すー、はぁ……さっきわたしを噛んだ蟲が、これ？　それがこんな風に変化した……つてことかしら。い、痛みはないけど――

根本が、わたしの、その……お、お豆に噛み付いてるのね。そこから肉が一体化して……

さっき握ったときは指ぐらいだった、わよね？　そ、それが、私の腕ぐらい太いし、長さも……お、おへそまでつて、これ、え、うそ……いや、でも……みんな水浴びしたときに見た、あれ……ちょっと大きさとか形が違うけど、え、ええ!!

いやっ！　なんで!!　と、取ら――っ、ん、一刻も早くとら――っ、ひゃあっ！　っ、なによ、これ。しょ、触覚も再現されてるの？　え、ええと――す、すっごく、敏感だった。

ど、どうにか取れないのかしら。色で区別がつくかというと――無理、ね。し、質感も……んっ！　か、かわらない、わ。芯が通ったみたいに、硬いけど。興奮したときだけ、こうなるって聞いているけど――ぼ、勃起、って言うのよね？　上に向いて、お腹に返り返って――ごくっ。

先っぽは皮が剥けて、赤っぽい……内蔵みたい。んうっ、ちょ、ちょっと……なんか、変な臭い……っ！　こ、この穢らしい蟲のせいだわ……っ！

形は蛇の頭みたいな出っ張った部分がある……みんなこうなのかしら？ んきゅっ！

っ、はぁ……なに、これ……根本より、全然敏感じゃない。

こ、これを……お、女の子のあそこに、入れるの？ け、形態から見て——この、出っ張ってるところで……こ、擦るんでしょ？

自分の弱点を擦って、お、女の子のそこを……か、掻き出すのね。ひ、卑猥……卑猥だわ……っ！

っ、なんだか……体が、熱く……っ！ なにこれ、もぞもぞ、する……っ！ 棒も……なんだか、ぴくぴくして……なんか、さっきより硬く……んっ！ あ、ひう……体、熱い……っ！ なに、これ……っ！ はぁ、ふう……っ！ だ、だめ……なんか、腰が、どくん、どくんって……うう……ふ、くうっ！

なんで、こんな気持ち悪いものついたのに……んっ！ っく、こいつ、の、せい！？ 発情状態にする媚薬毒、出してるみたい……あんっ……♡

はぁ、はぁっ……どうしよう……んっ♡ お腹のなかもぞもぞして、頭がぼーっとしてきちんと考えられない……っく、こんなじゃ、危なくて、ダンジョン進めないっ！

男の人って……こういう時……うう、まさかあいつらの下品なジョークが役に立つ時が来るなんて……敵の気配は……ないし、はぁ、はぁ♡ と、とにかく気持ちよくなって、出しちゃえばいいのよね。

んう、はぁ、やっぱ、敏感……！ こ、この……皮を滑らせるみたい……っ、すると……なん、かぁ……んううっ♡ へんっ、な……っ、感じ……っ♡！

ふっ、ふーっ♡ んっ、んくっ♡ はーっ、やだ……っ、なんか、先っぽ濡れて……っ。  
くちゅくちゅ、って……んうっ♡♡！

滑って……んっ♡ ああっ♡♡ あっ、ふううっ、やだ……っ、これ、なんか、怖：  
…っ、止まら、なく……っ、はあ♡ ひううっ♡♡ んっ♡♡ こちゅこちゅするう……♡

ひう……んっ♡ なんか……んうっ♡♡ ほんと、にいつ、とまんない、よおっ♡  
♡！ これ、すごお♡ んひっ♡♡ あっ、んううっ♡♡ あ♡ やんっ♡ だめ♡ 声、  
おっきく……っ♡♡！

ん……っ♡ ひあああっ♡！ う、ひう……？ な、なに♡ いまの……そっか、お、  
女の子のそこ、触れちゃった。い、いつもは、こっちだし……も、もし、両方……ごくっ。  
そ、そう……は、早く済ませないと……っ、ダンジョンの、なか、だし……んっ♡ はあ  
……う、へん、なの……っ、ずくずく♡ びくびく……う♡♡！

しゅこしゅこ♡……とまらない♡ よおお♡♡……だめ、にゃんだか♡ これっ♡ ん  
ひあっ♡♡ やんっ♡ うっ♡ く、ひうっ♡ だめっ♡♡ んっ♡ んっ♡♡ ん♡ ん♡  
んんーっ♡♡！ は、ひあっ、これ、しゅこ……っ♡！

お、おちんちん、とお……っ♡ おまん、こで……っ♡ ぜんぜん、ちが♡……ん  
ひあっ♡♡ やっ、だえっ、とまんじゃ……や♡……なにか、上がって……♡！

あっ♡ あっ♡ あっ♡♡ だめっ、ん♡ ああっ♡ くるっ、なにかあっ、だ  
えーっ♡♡ ああーっ♡♡！ ……っ、う、く♡……っ！ あ♡……やあっ♡……中  
でぷりぷりしたのが勢いよく流れてるの♡♡!? 溢れ……っ、止まんない……っ♡、

ぎゅううううっ、しゅごい♡ 気持ちいい♡♡!? ひ♡ ぎゅ……っ♡ おしっこ、  
のおっ、何倍も感じ♡ てえ♡♡!! あ、ああ、あああっ♡♡♡!

あ、でちゃ、った……っ、う、く……ふう、ふう、は……すう。す、少し……という  
か、気味悪いくらい、お、落ち着いたわ。大きさも硬さも、大人しくなってる……お、男  
の人って、こうなのかしら。

すご、かった……い、いつもの、お、お、女の子の——か、感覚だけじゃなくて……あ  
の、ぎゅうー、ってなる、お、男の人の……っ!

う、ううううー……あ、あんなに我を忘れるなんてっ! や、やっぱり男は下等だ  
わっ! あんな——あんな、お猿さんみたいにっ!

うっ、すごい、臭いっ! こ、こんなにたくさん……床にべっとり……っ! だ、出し  
たおしっこの臭いと混ざって……っ! すう、はあ、は、鼻が、殺されちゃいそう! さ、  
最低っ! 汚い、不潔! もう、最低っ! こ、こんなの……っ! お、お腹の中に入れ  
るなんて、最悪よお! そんなの、絶対しないんだからっ!

——で、でもまだなんだか、満足も、できたわけじゃなくて——満足したのは、男のだ  
けで、お、お腹の奥がずくんずくんして……っ♡!

っ、な、何言ってるの、わたし……っ! び、媚薬毒のせいよ! 早くこれ、どうにか  
しないと、くうっ! さいっつい! わ、わたしですらこんな目に遭ってるのに……あ、  
あいつらはどうなってるのかしら……は、はやく見つけてあげないと……!

うう、こんなのどうやってパンツに仕舞えばいいの？

な、なんだか、締め付けられて落ち着かないわ……うう、なんかぬちゃっとするう……  
っ、なんか反応して……っ、ええい、意識しないの！わたし、しっかりしなさい……  
……！